

緑区児童虐待防止推進月間キャンペーン

子育て
Sweet&Bitter

VOL.4

うまれる ずっと、いっしょ。 上映会

2015年11月9日(月)

9:45開場 10:15開演 ※12:30終演予定

会場：みどりアートパーク

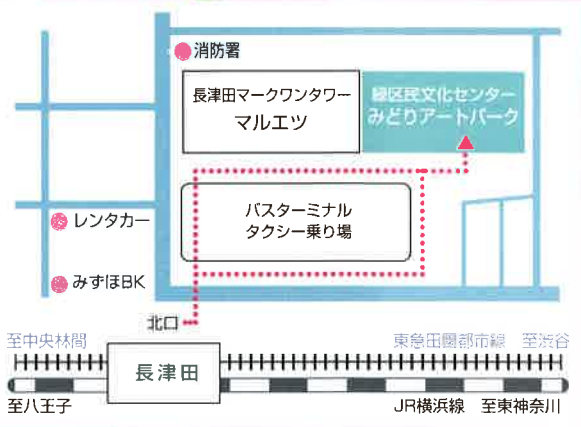
(JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線「長津田」駅 北口徒歩4分)

参加費：無料

定員：先着180名(緑区在住・在勤の方)

*「ママタイム」上映 (3歳以下の小さなお子さんの入場を許可した上映会です。おさんは膝の上で抱っこしてのご鑑賞となります。保育はありません) になります。

血のつながりの無い息子を育てる父親。最愛の妻を失った夫。不治の障がいがある子を育てる夫婦…。前回の上映で大好評を博した「うまれる」の続編。その後の家族や、別の形でいのちと向き合う家族のドキュメンタリーです。お子様連れでもご鑑賞いただけます。



子育てSweet&Bitterって？

緑区では11月の児童虐待防止推進月間にあわせて、子育てを応援するイベント「子育てSweet&Bitter」を毎年開催しています。このイベントは地域子育て支援拠点「いっほ」、親と子のつどいの広場「はなまる」「ながつたパオパオ」、「つどいの広場みらいポケット」が緑区役所と協力して進めています。このイベントが子育ての大変さ(Bitter)や嬉しさ(Sweet)を共に分かち合い、応援をする身近な存在があることを知るきっかけとなり、子どもたちの成長を見守る地域となって欲しいと思っています。

会場ホワイエでは…

- ◆子育て中の皆さんが書いた「我が子へ送るメッセージ」を掲示します。
- ◆地域の子育て情報や、保育園の情報コーナーがあります。
- ◆授乳室や飲食ができるスペースがあります。

お問合せ：緑区地域子育て支援拠点 いっほ TEL 045-989-5850

主催：緑区福祉保健センターこども家庭支援課
共催：緑区地域子育て支援拠点いっほ/つどいの広場みらいポケット/
親と子のつどいの広場みどりっこ親子の居場所はなまる/親と子のつどいの広場ながつたパオパオ

申込み方法

申込みはこちらのQRコードまたは、緑区役所ホームページから申し込みます。

www.city.yokohama.lg.jp/midori/

※申込みは一家族5名まで、友人同士での申込みはご遠慮ください。

【申込開始日時】9月25日(金) 9:00から

携帯用 スマートフォン用



緑区内の親子で遊べるひろばのご案内

就学前(主に0~3歳)の親子が自由に遊べて、子育ての相談もできる身近なひろばに行ってみませんか？

十日市場	緑区地域子育て支援拠点いっほ http://www.midori-ippo.com
中山	親と子のつどいの広場みどりっこ親子の居場所はなまる http://hanamaru.green-mama.org
長津田	親と子のつどいの広場ながつたパオパオ http://www.paopao.or.jp
鴨居	つどいの広場みらいポケット http://mirai-pocket.jp

子育て
Sweet&Bitter

前作を超える傑作ドキュメンタリー
映画『うまれる』シリーズ第二章

うまれる命、旅立つ命……。
いのちに向き合う三組の家族を描いた、愛の物語。

うまれる

ずっと、いっしょ。

ナレーション 樹木希林
www.umareru.jp

NHK や
各種新聞で
話題！

全国の
映画館が
涙と笑いの
渦に



前作「うまれる」とは？

両親の不仲や虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦、出産予定日に我が子を失った夫婦、子どもを望んだものの授けられない人生を受け入れた夫婦、完治しない障がい(18トリソミー)がある子を育てる夫婦。命を見つめる4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画です。

奇跡的に生まれてきた小さないのち
僕は良き父親になれるのだろうか？



監督 豪田トモ

誕生をテーマにした前作『うまれる』(2010年)の公開と同時に娘が生まれ、小さく愛おしい命を目の前にした僕は、率直に「いい親になりたい。家族と幸せに一生を過ごしたい。」としました。でも、それは自分が期待するほど簡単な作業ではないとすぐに気づかされました。長年、親との葛藤を抱えてきたが故の僕の「家族の肖像」が、あまり理想的なものではなかった事と関係しているかもしれません。それから4年あまり。カメラを片手に様々な家族を追いかけて完成したこの作品は、家族とは、父親とは、幸せとは、という様々な不安、責任、そして希望を追いかけた僕自身の心の記録です。映画を観ていただいた方、それぞれに、感じていただけることがあると信じています。

何もない人生なんてない。
誰もが向き合わなければならない課題を持っている。

家族の絆って、なんだろう？



ナレーション 樹木希林

家族とは、大変な時も、歓びの時もある。人間はそういうものですが、問題を抱えながら生きていくものだと思います。本作にはたくさんのメッセージが詰まっています。観る人には、それを「心で」感じて欲しいと思います。

くわばたりえ (タレント)

私には経験のない事、これから経験するかもしれない事、これから必ず経験する事の3つの話でしたが、胸がしめつけられたり、温まったり...「愛」をいろいろな角度から考えさせられました。